

経営比較分析表

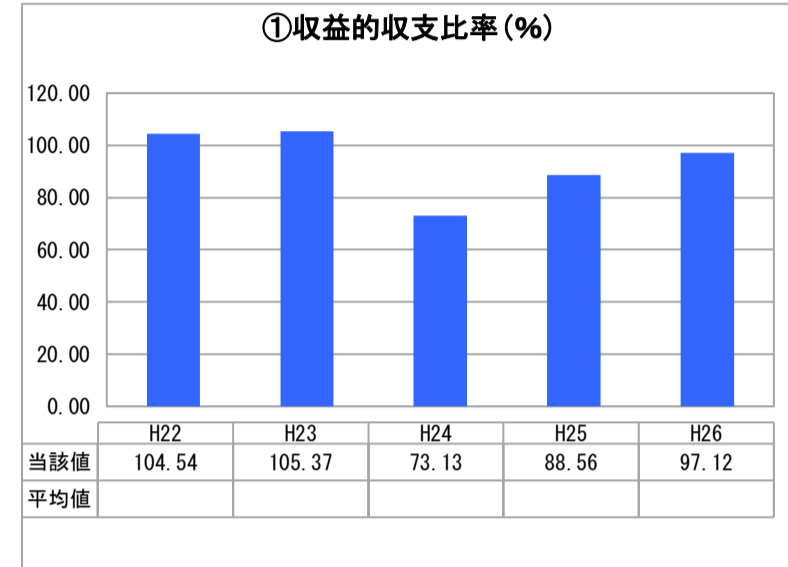
埼玉県 松伏町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	0.48	100.00

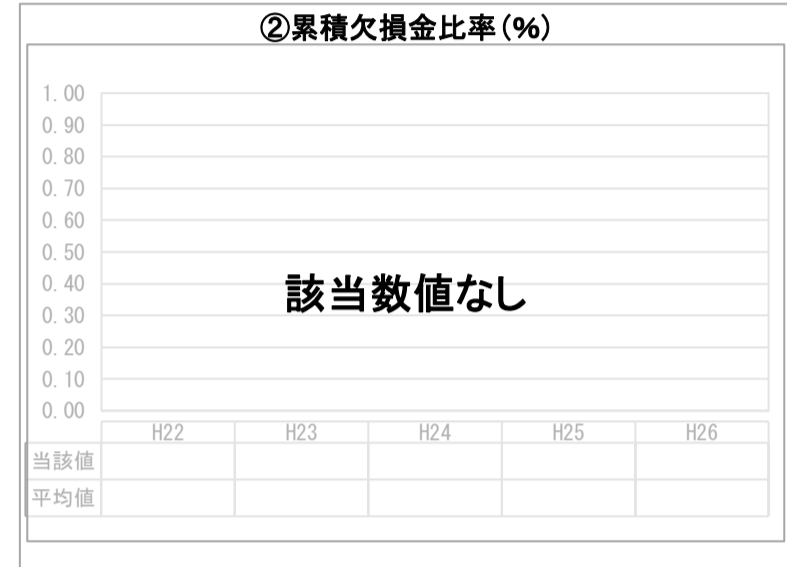
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,590	16.20	1,888.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
146	0.04	3,650.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



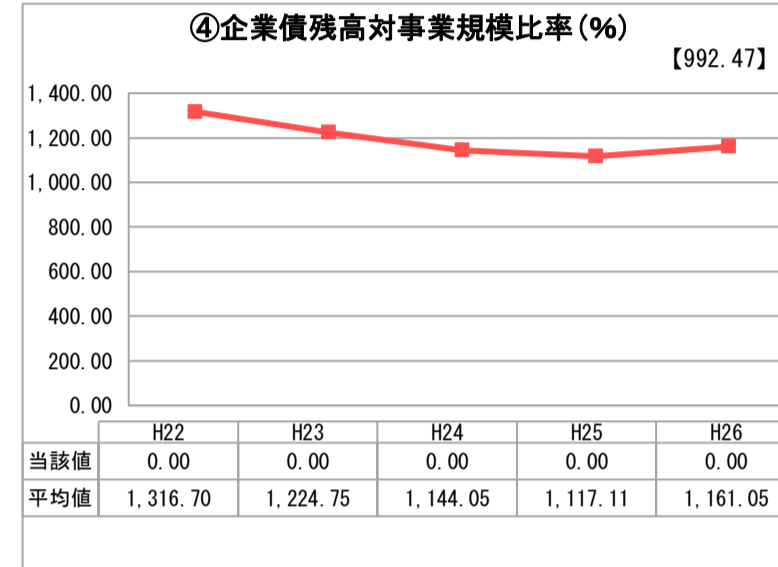
「単年度の収支」



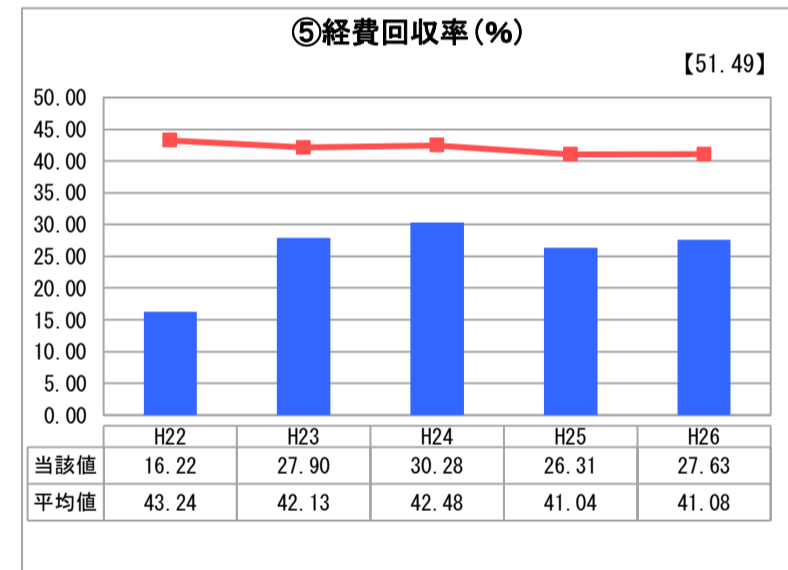
「累積欠損」



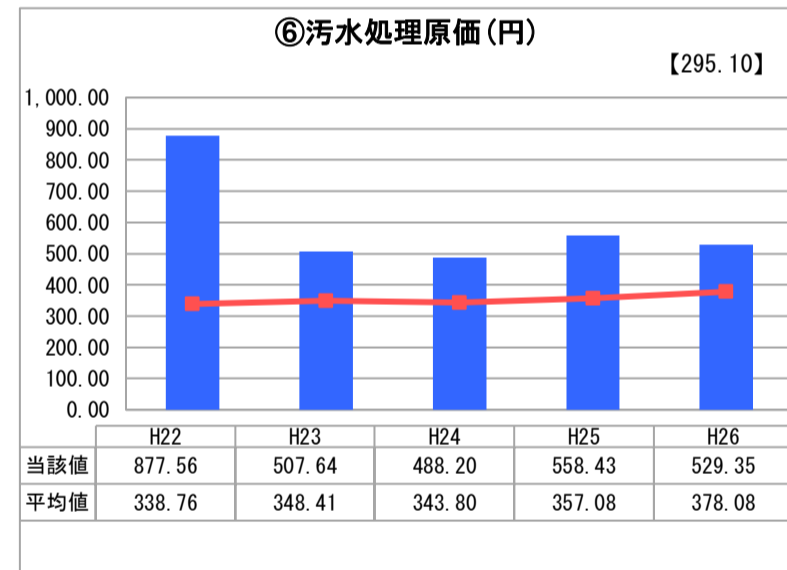
「支払能力」



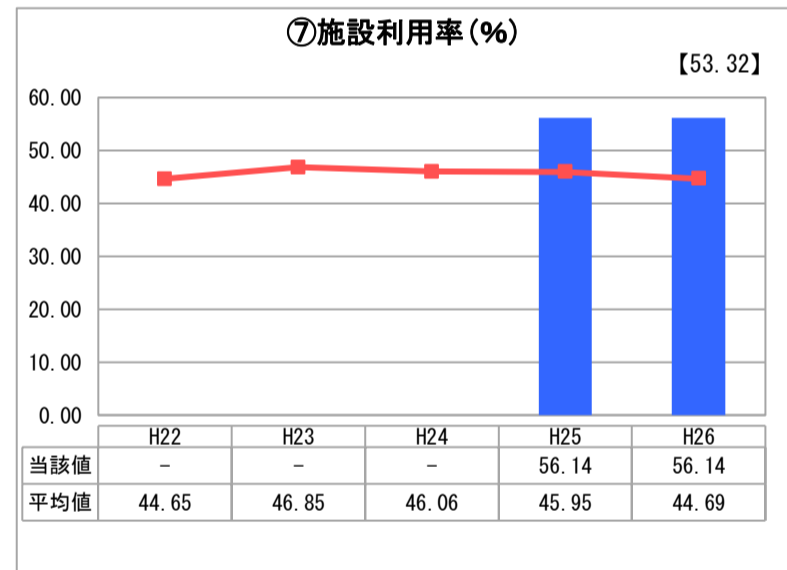
「債務残高」



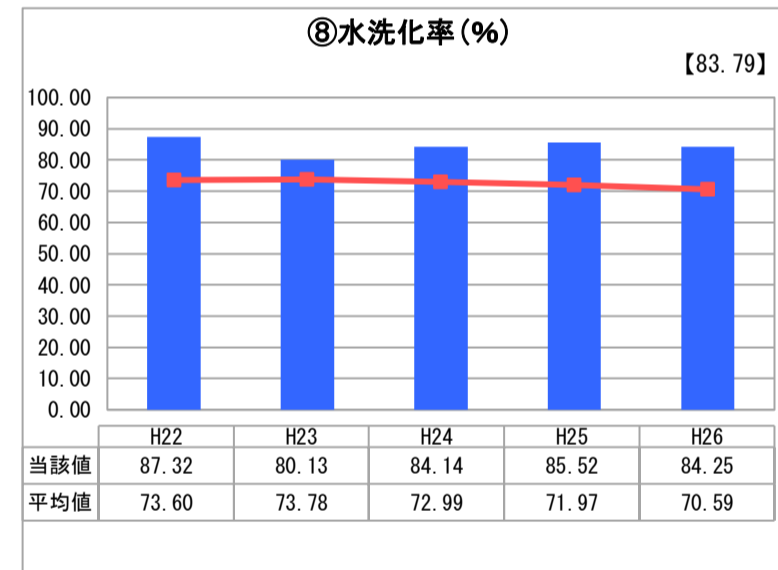
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

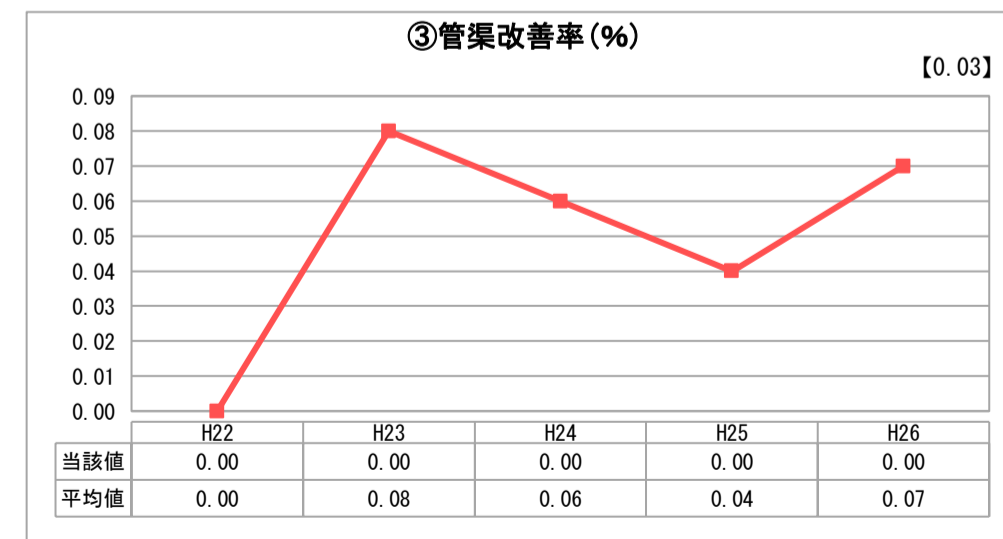
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営については大変苦しい状況です。健全化しようとするれば、使用料の収入を大幅に増やすしかなく、水洗化率も84%に達している中、限られた処理区域内で接続件数を増やすことは困難である事から使用料を値上げするしかない状況です。しかしながら現在既に公共下水道などと比べ割高な使用料を徴収しており、更に値上げすることは到底理解を得られません。経営的に不健全且つ非効率的であっても現状を維持するしかありません。処理区域の拡大などの更なる費用負担は見合った効果を得ることが困難であり論外です。

2. 老朽化の状況について

供用開始からおよそ11年を経過したところではありますが、上屋及び処理槽等の鉄筋コンクリート構造物、管路については耐用年数から見ても老朽化については問題ありません。機械・電気設備についてはメンテナンスやオーバーホールで対応できる状況です。

全体総括

現在、維持管理にかかる費用は必要最小限であり、これ以上の経費の削減は放流水の水質悪化の恐れもあり、出来ません。収入についても増加は見込めない事から、当分の間、現状を維持したいと考えます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。